

平成 25 年 2 月 18 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 新潟市立万代高等学校・田村一利
2. 講師氏名: Tonni Kurniawan
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 25 年 2 月 15 日 (金) 13:25 ~ 14:15
5. 参加生徒: 2 年生 18 人、 1 年生 0 人、 0 年生 0 人 (合計 18 人)
備考: 英語理数科理数コースの生徒
6. 講演題目: (英文) Landfill Leachate Treatment: State-of-the-Art
(和文) 埋立地の汚染水処理の最先端
7. 講演概要: 講師の自己紹介をしたのち、埋立地の汚染水の処理が地球規模の環境問題とどうかかわっていて、どんな意義があるのか、研究の動機について解説を行った。さらに、汚染水処理の最新の技術研究としてナノテクノロジーの諸技術について解説した。特に、椰子の実の殻を炭化したものを吸着剤としたもの、オゾンや金属粒子などの諸技術について平易に解説した。質疑の時間も設定した。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 47 分 質疑応答時間 3 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
実施担当者による日本語解説
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 記念品贈呈済み